

# みなとみらい線車両留置場計画に伴う調査 説 明 会

平成29年11月25日(土)18時  
神奈川近代文学館 中会議室

横浜高速鉄道株式会社

## 本日の内容

- 1 みなとみらい線の概要
- 2 車両留置場計画
- 3 スケジュール
- 4 調査概要
- 5 お問い合わせ

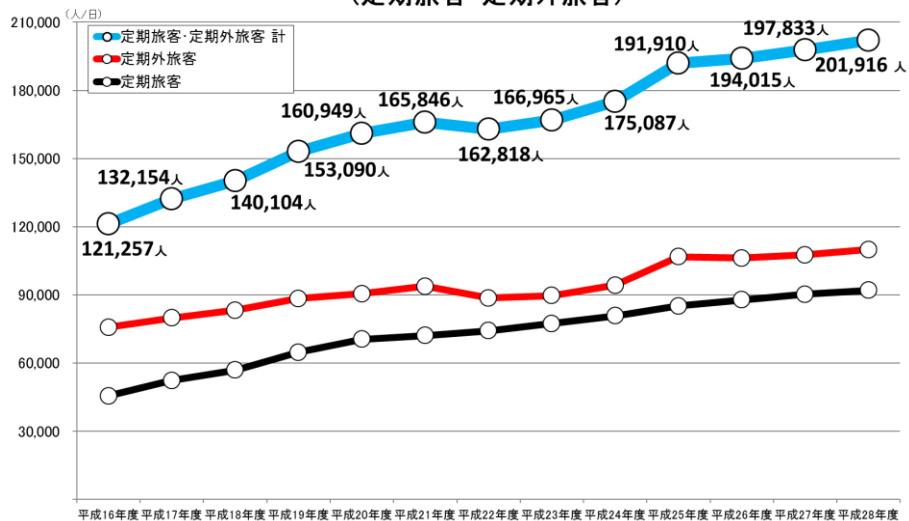
## 1 みなとみらい線の概要

開 業 : 平成16年2月  
 営業区間 : 横浜駅～元町・中華街（6駅）  
 営業キロ : 4.1km  
 利用人員 : 1日 201,916人（平成28年度）  
 運行本数 : 1日 299本（平日）



## 1 みなとみらい線の概要

### みなとみらい線の輸送人員の推移 （定期旅客・定期外旅客）



## 1 みなとみらい線の概要



## 1 みなとみらい線の概要



横浜高速鉄道(株) 所有車両 Y500系 8両×6編成

## 2 車両留置場計画

### (1) 車両留置場の現状

- みなとみらい線開業以来、東急電鉄(株) 元住吉車庫の一部の土地を借地して、横浜高速鉄道(株)の車両留置場として使用してきました。
- 元住吉車庫の借地期限が、平成31年1月までとなっているため、新たな留置場を確保する必要が生じました。

## 2 車両留置場計画

### (2) 新たな車両留置場計画

- 新たな車両留置場を、自社線内に整備します。
- 整備個所は元町・中華街駅の終点側とし、トンネル構造で4編成分(10両対応)整備します。
- 終端駅に整備することにより、配線計画をシンプルにすることができるとともに、列車運行上の効果が期待できます。

## 2 車両留置場計画

計画箇所



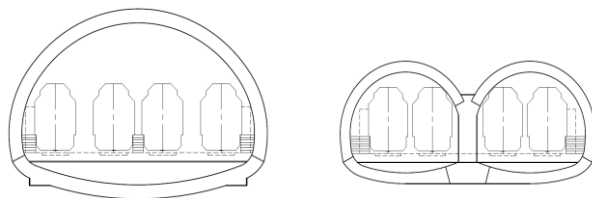
## 2 車両留置場計画

車両留置場イメージ

<平面イメージ>



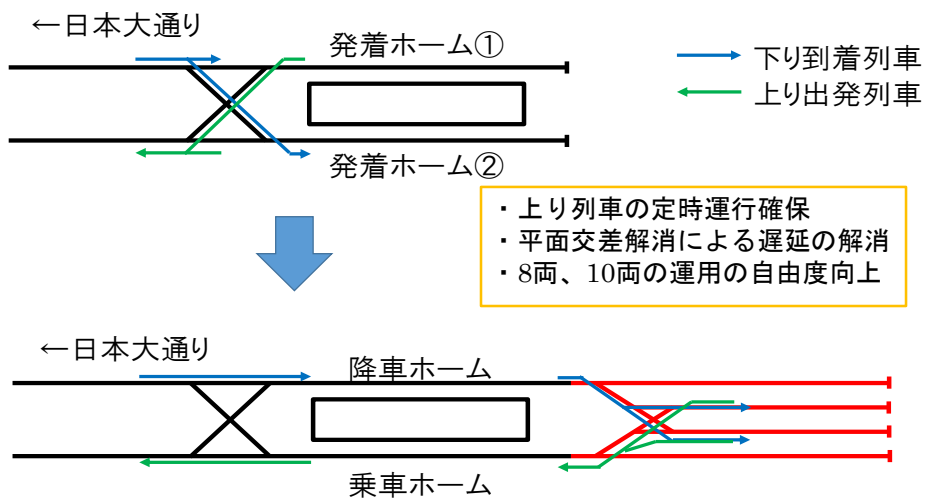
<トンネルイメージ>



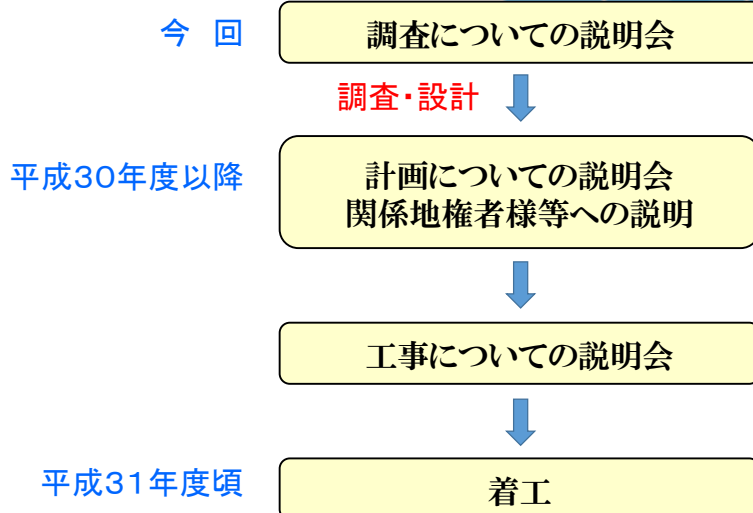
※本図は現段階のイメージであり今後の検討により変更することがあります。

## 2 車両留置場計画

### 列車運行上の効果



## 3 スケジュール





## 4 調査概要

調査委託会社

八千代エンジニアリング株式会社

## 4 調査概要

### 4.1 測量

地形を把握する目的で測量を行います。

## 4.1 測量

地形を把握する目的で測量を行います。

※作業に際しては作業員が移動しながら、測量を行ってまいります。  
皆様方に大変ご迷惑をお掛けいたしますが、安全に十分留意し作業を行いますので、  
ご理解・ご了承の程宜しくお願いいたします。



## 4 調査概要



### ・宅地内での測量について

→地形を把握するために宅地内（庭先）に入らせていただく場合があります。  
その際は**事前にご連絡をさせていただきます。**  
ご協力のほど、よろしくお願いします。

## 4 調査概要

### 4.2 地質調査

#### ボーリング調査について その1

→地表面下の地質の種類や強度を把握するため、専用の機械を用いて孔径10cm程度の孔をある所定の深度まで掘り、試料採取と孔内で試験を行います(写真-1)。

→調査を実施する箇所は図-1の通り、公園内および道路脇を予定しています。  
資機材はトラックと特装車で調査地点まで運搬します。

※詳細な調査位置については、各管理者と協議により決定いたします(調査位置の変更が生じた場合は再度お知らせいたします)。



写真-1.ボーリング調査



図-1.ボーリング調査予定位置  
※地理院地図に加工



## 4 調査概要

### ボーリング調査について その2

→ボーリング掘削後の孔については、経時的な地下水位の変動を確認する目的で塩ビ管を建て込み(写真-2)、地下水観測孔として仕上げます。

→観測孔では、定期的(月1回程度の頻度)に地下水位の測定を行います(写真-3)。

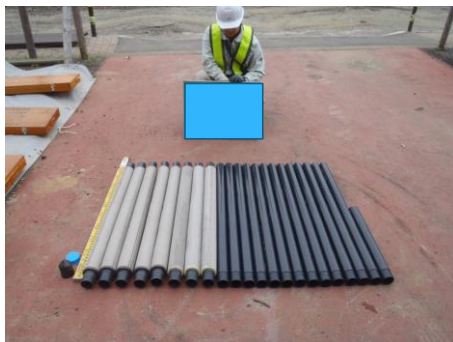


写真-2.地下水観測孔の材料



写真-3.地下水観測の例

### 4.3 環境調査 調査箇所



## 4 調査概要

### ・環境調査について

→各調査の状況を写真-1～写真-4に示します。



写真-1. 騒音・振動調査



写真-2. 交通量調査



▼鳥類



写真-3. 動植物調査



▲植物



写真-4. 水位・水質調査

## 4 調査概要

### 4.4 調査の安全対策

#### ◇調査全般

→道路上での、調査にあたっては所轄警察に必要な申請等を行います。

→調査員は腕章を着用し、身分証明書を携帯します。

#### ◇騒音・振動調査

→騒音、振動調査では、調査員が定期的な巡回を行います。

#### ◇ボーリング調査

→調査範囲は各地点5×5m程度を予定しています。作業箇所周辺にはフェンス等を設置するとともに、必要に応じて交通誘導員を配置し、十分な安全対策を講じます(写真-1)。



写真-1. 安全対策  
(フェンス設置・警備員)

→掘削を開始する前には、関係機関へ埋設物の有無の確認を行います。また、埋設物が周辺にあることが確認された場合には、試掘を行い掘削地点に埋設物が無いことを確認したのち、作業を行います(写真-2)。



写真-2. 試掘状況

## 4 調査概要

### 4.5 調査スケジュール

- ボーリング調査は、H30年1月以降を予定しています。  
※関係機関協議により変更の可能性があります。
- 作業期間はボーリング1孔あたり25日、作業全体で3ヶ月程度を想定しています。  
※地質状況次第で上記日数の変更が生じる可能性があります。
- 作業時間は、8：30～17：00を予定しています（日曜日は休み）。  
※騒音・振動は平日・休日各1日24h、交通量は平日・休日各1日8：00～18：00

| 項 目    |        | H29 | H30 |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    | H31 |   |   |
|--------|--------|-----|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|-----|---|---|
|        |        | 12  | 1   | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1   | 2 | 3 |
| 測量     | 測量調査   |     |     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |     |   |   |
| 地質     | 地質調査   |     |     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |     |   |   |
| 環境影響評価 | 騒音・振動  |     |     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |     |   |   |
|        | 交通量    |     |     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |     |   |   |
|        | 動植物    |     |     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |     |   |   |
|        | 水質・地下水 |     |     |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |     |   |   |

## 5 お問い合わせ

横浜高速鉄道株式会社

経営企画課 小島、荒井

電話 045-664-0625

（平日 9:00～17:30）